

J R 東海労幹関西地「申」第11号  
2 0 2 0 年 9 月 2 3 日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 畑田 整吾 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

「名古屋運輸所のセアカゴケグモ発見」に関する申し入れ

7月22日に、名古屋運輸所の総務科名で「お知らせ△（注意喚起）」セアカゴケグモ発見の掲示が出された。他職場の事であり宿泊した大阪や東京の乗務員は気がつかなかった。最近、掲示を見た組合員から連絡を受け大阪第一運輸所・大阪第二運輸所の総務科長に確認したところ「初めて聞きました、確認します。」とのことであった。セアカゴケグモに咬まれた場合の症状は1時間から12時間以上になると痛みが出て嘔気、嘔吐、発熱、不眠症、めまい頭痛などさまざまである。名古屋運輸所の掲示では「当該クモは駆除済み、業者による周辺の防除消毒作業も完了している。」とある。しかし、大阪第一運輸所や大阪第二運輸所では注意喚起の連絡や報告もなく、掲示すら出されていない。これで「安全最優先」と言えるのか。名古屋運輸所で掲示が出てから約2ヶ月が経過しているが、大阪や東京の乗務員職場でも掲示を出し注意喚起すべきである。

以下のとおり申し入れるので早急に団体交渉の場を設定すること。

記

1. 名古屋運輸所に於けるセアカゴケグモの発見日時と場所の詳細を明らかにすること。
2. 名古屋運輸所に於ける駆除及び消毒の詳細を明らかにすること。
3. 新幹線乗務員職場に対する注意喚起の掲示を出すこと。
4. 今後、名古屋運輸所に限らずセアカゴケグモ発見時の対応を明らかにすること。
5. 7月22日に名古屋運輸所で掲示が出された以降、他所乗務員が9月上旬まで当該事象を知らなかった理由を明らかにすること。
6. 東海労組合員からの問い合わせに対し大阪第一運輸所杉本総務科長からは「大阪南港でも多く発見されている」、関西支社の岡本係長からは「名古屋運輸所に行けば掲示を見るから特に関西支社として対応を考えていない」との返答であった。このような言動は、軽率な言動であると考えるが会社の見解を明らかにすること。
7. 名古屋運輸所内の安全衛生委員会でセアカゴケグモが発見された事象、その後の対応、対策について議論されたのか明らかにすること。また、7月～9月に開催された安全衛生委員会の議論内容を書面で明らかにすること。

以上